

様式第 2 号の 1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	山形情報 IT クリエイター専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
工業専門課程	情報 IT 学科(2 年制)	夜・ 通信	1,080	210	
	情報 IT 学科(3 年制)	夜・ 通信	840	240	
	クリエイター学科	夜・ 通信	1,530	270	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

—

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山形情報ITクリエイター専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2023.4.1～ 2027.3.31	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	Webデザイン・システム 開発・印刷関連企業 代表	2023.4.1～ 2027.3.31	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山形情報 I T クリエイター専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
1. 作成について 大原学園では、授業計画書(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。本校における、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させる予定である。 なお、授業計画書(シラバス)の作成、記載項目は大原学園全体で定めたガイドラインに沿って行っている。	
2. 公表の時期について 年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集を反映させたいうで、前年度中に作成を行い、新年度開始前までに HP を通じて公表予定である。	
授業計画書の公表方法	一
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
大原学園各校では、学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施しており、本校においても同様の対応を予定している。	
なお、本校の学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図る予定である。 学則より抜粋 (試験等) 第 18 条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して行う。 2 各授業科目の成績評価方法については別に定める。 (学業成績) 第 19 条 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の 5 種をもってこれを表し、秀は 90 点以上、優は 80 点以上、良は 70 点以上、可は 60 点以上、不可は 60 点未満とする。 2 授業科目の成績は、前項の 5 種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP (Grade-Point) を与える。	

(単位の授与)

第20条 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。

(進級の認定)

第25条 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

学生便覧より抜粋

1. 進級について

各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の進級に必要な授業科目および単位数を修得したと認められた場合、進級できる。

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

4. 授業について

全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

大原学園では、学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、成績評価に使用しており、GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。

本校においても、この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図る予定である。

客観的な指標 (GPA) の算出方法

(1) 指標

成績評価における客観的な指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる。

(2) 成績評価と GP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP (Grade-Point) を与える。

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	—	—	—

(3) 相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする。 (4) GPA 算出方法 $\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目の GP} \times \text{履修単位数}) \text{の合計}}{\text{総履修単位数}}$ GPA の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)	
客観的な指標の算出方法の公表方法	—
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、情報処理分野に関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって社会に貢献できる有為な人材育成を目的とする。 上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めHPに公開予定である。 (1) 在学期間を通して、出席状況や学習態度が良好で、真摯に取り組んだことが認められる。 (2) 大原学園が教育課程ごとに規定する必要な時間を履修し、専門的な知識やスキルを身に付けていると認められる。 (3) マナーやコミュニケーションなど、社会人としての基礎力を身に付けており、社会への貢献が期待できる。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	—

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	山形情報 IT クリエイター専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	情報 IT 学科 2 年制		－		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,700 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間	－ 単位時間	
			単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人		一人	一人	一人	一人	一人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 1. 作成について 大原学園では、授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。本学科における検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させる予定である。 なお、授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は大原学園全体で定めたガイドラインに沿って行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 大原学園では、学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、成績評価に使用しており、GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。 本学科においても同様の対応を予定しており、また、この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図る予定である。

(1) 指標

成績評価における客観的な指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる。

(2) 成績評価と GP

授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP (Grade-Point) を与える。

ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	—	—	—

(3) 相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする。

(4) GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目の GP} \times \text{履修単位数}) \text{の合計}}{\text{総履修単位数}}$$

GPA の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)

卒業・進級の認定基準

(概要)

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、情報処理分野に関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって社会に貢献できる有為な人材育成を目的とする。

■卒業の認定

本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が卒業を認定することを予定する。

(1) 情報 IT 学科 (2 年制)

1, 700 時間 (62 単位)

(2) 情報 IT 学科 (3 年制)

2, 550 時間 (93 単位)

(3) クリエイター学科

2, 550 時間 (93 単位)

学生便覧より抜粋

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

(1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科 (1 年制コースを除く) を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。

(2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。

(3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

(4) 欠席累計が100日 (休学日数を含む) に達した者は卒業できない。

学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施予定である。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
一人 (%)	一人 (%)	一人 (%)	一人 (%)
(主な就職、業界等) —			
(就職指導内容) —			
(主な学修成果（資格・検定等）) —			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
一人	一人	%
(中途退学の主な理由) —		
(中退防止・中退者支援のための取組) —		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報 IT 学科 3 年制	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,550 単位時間	- 単位時間	- 単位時間	- 単位時間	- 単位時間	- 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45 人		一人	一人	一人	一人	一人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 1. 作成について 大原学園では、授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。本学科における検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させる予定である。 なお、授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は大原学園全体で定めたガイドラインに沿って行っている。			
成績評価の基準・方法			
（概要） 大原学園では、学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、成績評価に使用しており、GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。 本学科においても、同様の対応を予定しており、また、この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図る予定である。			
（1）指標 成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる。			
（2）成績評価と GP 授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える。			
ランク	評定	評価内容	GP
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3
良		内容を理解している	2
可		内容をほぼ理解している	1
不可	不合格	内容を理解していない	0
認定	—	—	—
（3）相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする			
（4）GPA 算出方法 $\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目の GP} \times \text{履修単位数}) \text{の合計}}{\text{総履修単位数}}$ GPA の最高は 4.0 となる。（小数点以下第 2 位四捨五入）			
卒業・進級の認定基準			
（概要） ■教育目的 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、情報処理分野に関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって社会に貢献できる有為な人材育成を目的とする。 ■卒業の認定 本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が卒業を認定することを予定する。			

(1) 情報 I T 学科 (2 年制) 1, 700 時間 (62 単位) (2) 情報 I T 学科 (3 年制) 2, 550 時間 (93 単位) (3) クリエイター学科 2, 550 時間 (93 単位)
学生便覧より抜粋 2. 卒業について 各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。 (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科(1 年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。 (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。 (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。 (4) 欠席累計が100日(休学日数を含む)に達した者は卒業できない。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施予定である。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
一人 (%)	一人 (%)	一人 (%)	一人 (%)
(主な就職、業界等) —			
(就職指導内容) —			
(主な学修成果(資格・検定等)) —			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
— 人	— 人	— %
(中途退学の主な理由) —		
(中退防止・中退者支援のための取組) —		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	クリエイター学科 3年制	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,550 単位時間／単位	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		一人	一人	一人	一人	一人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																												
（概要） 1. 作成について 大原学園では、授業計画書（シラバス）は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。本学科における検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させる予定である。 なお、授業計画書（シラバス）の作成、記載項目は大原学園全体で定めたガイドラインに沿って行う予定である。																												
成績評価の基準・方法																												
（概要） 大原学園では、学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、成績評価に使用しており、GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。 本学科においても同様の対応を予定しており、また、この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図る予定である。 （1）指標 成績評価における客観的な指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる。 （2）成績評価と GP 授業科目の成績は、「秀・優・良・可・不可」の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下表のとおり GP（Grade-Point）を与える。 <table border="1"> <tr> <th>ランク</th><th>評定</th><th>評価内容</th><th>GP</th></tr> <tr> <td>秀</td><td rowspan="4">合格</td><td>内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている</td><td>4</td></tr> <tr> <td>優</td><td>内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている</td><td>3</td></tr> <tr> <td>良</td><td>内容を理解している</td><td>2</td></tr> <tr> <td>可</td><td>内容をほぼ理解している</td><td>1</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>不合格</td><td>内容を理解していない</td><td>0</td></tr> <tr> <td>認定</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> （3）相対評価により成績順位をつける場合には GPA を用い、順位づけの範囲は「学校」とする				ランク	評定	評価内容	GP	秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4	優	内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3	良	内容を理解している	2	可	内容をほぼ理解している	1	不可	不合格	内容を理解していない	0	認定	—	—	—
ランク	評定	評価内容	GP																									
秀	合格	内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている	4																									
優		内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている	3																									
良		内容を理解している	2																									
可		内容をほぼ理解している	1																									
不可	不合格	内容を理解していない	0																									
認定	—	—	—																									

(4) GPA 算出方法 $\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目の GP} \times \text{履修単位数}) \text{の合計}}{\text{総履修単位数}}$ GPA の最高は 4.0 となる。(小数点以下第 2 位四捨五入)			
卒業・進級の認定基準			
(概要) ■教育目的 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、情報処理分野に関する専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって社会に貢献できる有為な人材育成を目的とする。 ■卒業の認定 本校に修業年限以上在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、下記に定めるところにより授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が卒業を認定することを予定する。 (1) 情報 I T 学科 (2 年制) 1, 700 時間 (62 単位) (2) 情報 I T 学科 (3 年制) 2, 550 時間 (93 単位) (3) クリエイター学科 2, 550 時間 (93 単位) 学生便覧より抜粋 2. 卒業について 各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。 (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科(1 年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。 (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。 (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。 (4) 欠席累計が100日(休学日数を含む)に達した者は卒業できない。			
学修支援等			
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトで連絡、個人面談、保護者との連携を実施予定である。			

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
一人 (%)	一人 (%)	一人 (%)	一人 (%)
(主な就職、業界等)			
—			
(就職指導内容)			
—			

(主な学修成果（資格・検定等）） —
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
— 人	— 人	— %
(中途退学の主な理由) —		
(中退防止・中退者支援のための取組) —		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
情報 IT 学科 2 年制	120,000 円	660,000 円	400,000 円	
情報 IT 学科 3 年制	120,000 円	660,000 円	400,000 円	
クリエイター学科	120,000 円	660,000 円	460,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価結果については開校年度の翌年度末までにHPにて公表する予定である。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
大原学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。 (1) 教育理念・目的・育成人材像 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の募集と受け入れ (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価委員会を確実に実施し、開設年度の翌年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価結果については開校年度の翌年度末までにHPにて確実に公表する。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) —
